

4 障害のある者への配慮

(1) 障害のある者を対象とした特別選考

障害のある者を対象とした選考は、「障害者特別選考」等の名称で、59県市（新規8県市）において行われ、受験資格は障害者手帳保有者（58県市）などとしている。募集人員については、一般採用人員に含めている場合が38県市となっており、採用数を明示しているのは3県となっている。

○ 障害のある者の受験者数及び採用者数

障害のある者の受験者は、平成21年度で316人（うち特別選考268人）であり、平成20年度の336人（うち特別選考258人）と比べて、受験者数全体は減少しており、特別選考による受験者数は微増となった。

また、平成20年度の採用者数は80人であり、そのうち特別選考において69人が採用された。

○ 障害のある者の配置例

障害のある者の平成20年度までの具体的な配置例としては、対応する特別支援学校における教諭、実習助手や事務職員が多く見られるものの、特別支援学校以外の学校の教諭としての配置、教育委員会事務局、図書館等の事務職員、嘱託職員への配置も多く見られた。

障害の種類別では、肢体不自由者・病弱者について幅広い配置例が見られたが、聴覚障害者の学校給食調理員、知的障害者の嘱託職員など、その他の障害を持った者についても、多様な配置が行われていた。

(2) 試験時における障害のある者への配慮

○ 周知方法

教員採用選考試験時における障害のある者への配慮はほぼ全ての教育委員会において実施され、募集要項やホームページ等によりその周知を図っている。効果的な周知方法としては、6県市が障害者施設・団体を通じた周知を行った。

○ 筆記試験における配慮

- ・ 視覚障害者については、43県市で何らかの配慮が行われ、文字・用紙の拡大（28県市）、時間延長（27県市）、点字受験（25県市）等がなされた。
- ・ 聴覚障害者については、53県市で何らかの配慮が行われ、手話通訳（38県市）や書面・筆談指示（38県市）、前列席・希望席に座席を配置（30県市）等がなされた。
- ・ 肢体不自由者については、38県市で何らかの配慮が行われ、別室受験（17県市）、時間延長（15県市）、試験会場・机等の配慮（15県市）等がなされた。

○ 筆記試験以外における配慮

実技試験や面接試験など、筆記試験以外の試験等においても、55県市で何らかの配慮が行われ、受験者に便利な会場とすること、介添人、手話通訳等の配置、実技試験や集団面接の差替・免除、試験前後における連絡や駐車場確保等がなされた。

(1) ア 障害のある者を対象とした特別選考

県市名	実施状況		募集人員			受験資格		選考方法・内容	
		選考名	一般採用に 含む	採用数 明示	若干名	障害者手帳 保有	自力通勤・ 介助者不要	一般選考試験 と同様	一定の場合に 一部免除等の 配慮を行う
1	北海道	○	障害者特別選考			○	○		○
2	青森県	○	身体障害者特別選考	○		○	○		○
3	岩手県	○	障がい者特別選考	○		○	○	○	
4	宮城県	○	障害者特別選考			○	○		○
5	秋田県	○	障害者特別選考	○		○	○		○
6	山形県	○	特別選考2(身体障がい者特別選考)	○		○	○		○
7	福島県	○	特別選考2	○		○	○		○
8	茨城県	○	身体障害者を対象とした選考	○		○	○		○
9	栃木県	○	身体に障害のある方を対象とした選考	○		○	○		○
10	群馬県	○	身体障害者特別選考試験	○		○	○		○
11	埼玉県	○	障害者特別選考	○		○	○		○
12	千葉県	○	身体障害者を対象とした特別選考			○	○		○
13	東京都	○	障害者特別選考	○			○		○
14	神奈川県	○	特別選考【身体障害者】	○		○	○		○
15	新潟県	○	身体障害者特別選考		5人	○	○		○
16	富山県	○	特別選考 身体障害			○		○	
17	石川県	○	身体に障害のある受験者を対象とした選考	○		○	○		○
18	福井県	○	身体障害者特別選考	○		○	○		○
19	山梨県	○	身体に障害のある人を対象とした特別選考検査			○			○
20	長野県	○	身体に障害のある人を対象とした選考			○	○		○
21	岐阜県	○	障がい者を対象とした特別選考			○	○		○
22	静岡県	○	身体に障害がある者を対象とした選考	○		○	○		○
23	愛知県	○	身体障害者を対象とした選考			○	○		○
24	三重県	○	障がい者を対象とした特別選考	○		○	○		○
25	滋賀県	○		○		○	○		○
26	京都府	○	身体障害者特別選考			○	○	○	
27	大阪府	○	身体障がい者対象の選考	○		○			○
28	兵庫県	○	身体障害者を対象とした特別枠選考			○		○	
29	奈良県	○	身体に障害がある人を対象とした選考	○		○	○	○	
30	和歌山県	○	身体に障害のある者を対象とした選考	○		○	○		○
31	鳥取県	○	身体に障害のある者を対象とした選考	○		○	○		○
32	島根県	○	身体に障害のある者を対象とした選考	○		○	○		○
33	岡山県	○	特別選考B[身体に障害のある方を対象とした特別選考]	○		○	○		○
34	広島県	○	身体に障害がある者を対象とした特別選考	○		○	○		○
35	山口県	○	身体障害者を対象とした選考		1人程度	○	○		○
36	徳島県	○	身体に障害のある者を対象とした選考	○		○	○		○
37	香川県	○	特別選考2	○		○	○	○	
38	愛媛県	○	障害者特別選考	○		○	○		○
39	高知県	○	高知県公立学校教員採用候補者選考 審査障害のある人を対象とした選考			○	○	○	
40	福岡県	○	身体障害者を対象にした選考	○		○	○		○
41	佐賀県	○	身体障害者特別選考	○		○	○		○
42	長崎県	○	障害者特別採用選考			○	○		○
43	熊本県	○	身体に障がいのある者を対象とした特別選考	○		○	○		○
44	大分県	○	特別選考(1)		2人	○	○		○
45	宮崎県	○	身体に障がいがある人を対象とした選考	○		○	○		○
46	鹿児島県	○	障害者特別選考	○		○	○		○
47	沖縄県	○	身体に障害のある方を対象とした特別選考試験			○	○	○	

県市名	実施状況		募集人員			受験資格		選考方法・内容		
		選考名	一般採用に 含む	採用数 明示	若干名	障害者手帳 保有	自力通勤・ 介助者不要	一般選考試験 と同様	一定の場合に 一部免除等の 配慮を行う	
48	札幌市	○	障害者特別選考		○	○	○		○	
49	仙台市	○	障害者特別選考		○	○	○		○	
50	さいたま市	○	障害者特別選考	○		○	○		○	
51	千葉市	○	身体障害者を対象とした特別選考		○	○	○		○	
52	川崎市	○	特別選考4(身体障害者特別選考)	○		○	○		○	
53	横浜市									
54	新潟市	○	障害者特別選考	○		○	○	○		
55	静岡市	○	身体に障害のある者を対象とした選考	○		○	○		○	
56	浜松市	○	身体に障害のある者を対象とした選考		○	○	○	○		
57	名古屋市									
58	京都市									
59	大阪市	○	身体障害者対象選考	○		○			○	
60	堺市	○	身体障がい者対象の選考	○		○			○	
61	神戸市									
62	広島市	○	身体に障害がある者を対象とした特別	○		○	○		○	
63	北九州市									
64	福岡市	○	障がい者特別選考		○	○	○	○		
合計	59 (51)			38	3	21	58	53	11	48

※ 実施状況欄の下線は前年度から変更のあった県市を表す。また、()内は、前年度の数値である。

(1) イ 障害のある者の受験者数及び採用者数

県市名	H20年度 受験者数		H20年度 採用者数		H21年度 受験者数	
	受験者数	うち特別選考	採用者数	うち特別選考	受験者数	うち特別選考
1 北海道	22	10	1	1	19	15
2 青森県					3	3
3 岩手県	5	5	4	4	2	2
4 宮城県	7	7	3	3	3	3
5 秋田県	1	1			1	1
6 山形県	7	7	1	1	3	3
7 福島県	4				8	8
8 茨城県	2	1	1	1	2	2
9 栃木県	3	2	2	2	5	5
10 群馬県	6	6	1	1	2	2
11 埼玉県	15	15	4	4	15	15
12 千葉県	9	8	3	3	5	5
13 東京都	29	28	8	8	35	35
14 神奈川県	8	4	2	1	8	5
15 新潟県	2	2	1	1	4	4
16 富山県	5	4	2	1	3	2
17 石川県	2				5	5
18 福井県	3	3	1	1	2	2
19 山梨県	1	1			1	1
20 長野県	5	5			7	7
21 岐阜県	5	4	1	1	11	8
22 静岡県	8		2		7	1
23 愛知県	17	17	5	5	14	14
24 三重県	6	6	3	3	4	4
25 滋賀県	4				2	
26 京都府	10	7	2	2	9	9
27 大阪府	45	30	9	7	35	26
28 兵庫県	12	12	2	2	12	12
29 奈良県	7	7	4	4	5	5
30 和歌山県	10	10	1	1	8	8
31 鳥取県	3	2	1		1	1
32 島根県	1				2	
33 岡山県	2	2			2	2
34 広島県	2	2			2	2
35 山口県	3	2	2	1	3	3
36 徳島県	2				3	3
37 香川県	5	5	2	2	3	3
38 愛媛県	5	5			4	4
39 高知県	3	3			5	5
40 福岡県	4	4	1	1	3	3
41 佐賀県	4	4	3	3	1	1
42 長崎県	5	5	2	2	2	2
43 熊本県	2		2		5	5
44 大分県	2	2			2	2
45 宮崎県	3	3	2	2	4	4
46 鹿児島県	4	4			3	3
47 沖縄県	6	6			5	5

県市名	H20年度 受験者数		H20年度 採用者数		H21年度 受験者数	
	受験者数	うち特別選考	採用者数	うち特別選考	受験者数	うち特別選考
48 札幌市	3	3			1	1
49 仙台市						
50 さいたま市						
51 千葉市						
52 川崎市					2	1
53 横浜市	9		1		7	
54 新潟市						
55 静岡市					1	1
56 浜松市					1	1
57 名古屋市	2				6	
58 京都市	1					
59 大阪市	4	4	1	1	4	4
60 堺市						
61 神戸市	1				3	
62 広島市						
63 北九州市					1	
64 福岡市						
合 計	336	258	80	69	316	268

※ 仙台市、千葉市、堺市、広島市については、府県と共同で選考し、採用しているため、受験者数及び採用者数を記載していない。

(1) ウ 障害のある者の配置例

障害のある者の平成20年度までの具体的な配置例としては、主に以下のようなものがあつた。（事務職員等を含む教職員の配置例）

視覚障害者	所 属	職 名	業務の具体例
	特別支援学校(視覚)	教諭	授業等
	特別支援学校(視覚)	理療科教諭・助教諭・講師	授業等
	特別支援学校(視覚)	実習助手	授業の補助等
	高等学校・中学校	事務職員	学校事務
県立図書館	主事	図書館事務	

聴覚障害者	所 属	職 名	業務の具体例
	特別支援学校(聴覚)	教諭	授業等
	特別支援学校(養護)	教諭	授業等
	特別支援学校	寄宿舎指導員	日常生活上の世話等
	小学校・高等学校	教諭	授業等
	中学校	事務職員	学校事務
小学校	技能職員	学校給食調理員	

知的・精神障害者	所 属	職 名	業務の具体例
	小学校	教諭	特別支援学級担任(精神障害者)
	特別支援学校	実習助手	授業の補助等
	特別支援学校	非常勤嘱託職員	施設の軽微な修繕、校舎管理等
	教育研究所	嘱託職員	一般事務
文書館	非常勤一般職員	事務補助(経理、台帳整理)	

肢体不自由者・病弱者	所 属	職 名	業務の具体例
	特別支援学校	教諭	授業等
	特別支援学校	実習助手	授業の補助等
	特別支援学校	学校栄養職員	学校給食の栄養管理、栄養指導等
	小学校・中学校・高等学校	教諭	授業等
	小学校・中学校・高等学校	事務職員	学校事務
	小学校	養護教諭	養護
	教育委員会事務局 教育事務所 教育センター 社会教育総合センター 美術館・図書館・市民館	事務職員	一般事務、庶務事務、経理事務、人事労務事務、講習・研修事務、事務補助(イベント、集計作業、統計、ホームページ作成、資料の収集分類整理、カウンター業務、郵便物取扱、物品管理、入館受付、観覧券販売、電算入力、情報管理等)
教育委員会事務局	嘱託員	授業づくり相談	

(2) ア 教員採用選考試験時における障害のある者への配慮の周知方法

県市名	配慮の周知方法			
	募集要項等	パンフレット	ホームページ	受験説明会
1 北海道	○		○	
2 青森県	○		○	○
3 岩手県	○			
4 宮城県	○		○	○
5 秋田県	○			
6 山形県	○		○	
7 福島県	○	○	○	
8 茨城県	○	○	○	○
9 栃木県	○	○	○	○
10 群馬県	○		○	
11 埼玉県	○	○		○
12 千葉県	○	○	○	○
13 東京都	○		○	○
14 神奈川県	○	○	○	○
15 新潟県	○	○	○	○
16 富山県	○			
17 石川県	○		○	
18 福井県	○		○	
19 山梨県	○		○	○
20 長野県	○			
21 岐阜県	○		○	○
22 静岡県	○	○	○	
23 愛知県	○	○	○	○
24 三重県	○		○	○
25 滋賀県	○		○	○
26 京都府	○		○	
27 大阪府	○			○
28 兵庫県	○	○	○	○
29 奈良県	○		○	
30 和歌山県	○		○	○
31 鳥取県	○		○	○
32 島根県	○	○	○	○
33 岡山県	○		○	○
34 広島県	○	○	○	○
35 山口県	○		○	
36 徳島県	○		○	○
37 香川県	○			
38 愛媛県	○			
39 高知県	○		○	
40 福岡県	○	○		
41 佐賀県	○		○	○
42 長崎県	○		○	○
43 熊本県	○	○		○
44 大分県	○		○	
45 宮崎県	○	○		
46 鹿児島県	○		○	○
47 沖縄県	○		○	

県市名	配慮の周知方法			
	募集要項等	パンフレット	ホームページ	受験説明会
48 札幌市	○		○	
49 仙台市	○		○	○
50 さいたま市	○			○
51 千葉市	○	○	○	○
52 川崎市	○	○	○	○
53 横浜市	○	○	○	
54 新潟市	○		○	○
55 静岡市	○	○		○
56 浜松市	○			
57 名古屋市	○		○	
58 京都市	○	○		
59 大阪市	○			
60 堺市	○			○
61 神戸市	○			
62 広島市	○	○	○	○
63 北九州市	○			
64 福岡市	○	○	○	

合計	64	22	45	34
----	----	----	----	----

その他の周知方法等

- ・直接本人と電話、ファックス等で確認(北海道)
- ・障害者施設・団体を通じた周知(宮城、埼玉、三重、高知、大分、仙台)
- ・労働局主催の新卒障害者向け説明会参加(東京)
- ・出願後に配慮を行う旨を口頭で周知(石川)
- ・ラジオ等での広報、大学訪問の際の説明(三重)

(2) イ 筆記試験における配慮

① 視覚障害者

県市名	何らかの配慮の実施	具 体 的 な 配 慮 の 内 容									
		点字受験	文字・用紙の拡大	拡大鏡使用	時間延長	点字補助員	介添者	ワープロ等使用	音声回答	別室受験	受験者の希望 に対応
1 北海道	○	○	○	○	○	○	○			○	
2 青森県											
3 岩手県											
4 宮城県	○	○	○	○	○	○	○			○	
5 秋田県	○										○
6 山形県											
7 福島県	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
8 茨城県											
9 栃木県	○	○			○					○	
10 群馬県											
11 埼玉県	○		○	○	○				○	○	
12 千葉県											
13 東京都	○	○	○	○	○			○		○	
14 神奈川県	○	○	○		○					○	
15 新潟県											
16 富山県											
17 石川県											
18 福井県	○		○								
19 山梨県											
20 長野県											
21 岐阜県	○	○			○	○	○				
22 静岡県	○	○	○	○	○		○			○	
23 愛知県	○	○	○	○	○	○	○			○	
24 三重県											
25 滋賀県	○										
26 京都府	○	○	○	○	○					○	
27 大阪府	○	○	○	○	○						
28 兵庫県											
29 奈良県											
30 和歌山県	○	○	○	○	○			○	○	○	
31 鳥取県	○	○	○								
32 島根県	○	○	○	○	○					○	○
33 岡山県											
34 広島県	○	○	○								
35 山口県	○	○	○	○	○		○			○	○

県市名	何らかの配慮の実施	具 体 的 な 配 慮 の 内 容									
		点字受験	文字・用紙の拡大	拡大鏡使用	時間延長	点字補助員	介添者	ワープロ等使用	音声回答	別室受験	受験者の希望に対応
36 徳島県	○	○	○	○	○		○			○	
37 香川県	○		○	○	○		○			○	
38 愛媛県											
39 高知県	○			○	○		○	○		○	
40 福岡県	○										○
41 佐賀県											
42 長崎県											
43 熊本県	○		○								
44 大分県	○		○	○						○	
45 宮崎県	○										○
46 鹿児島県	○		○	○	○		○			○	
47 沖縄県	○	○			○	○				○	
48 札幌市	○	○	○	○	○	○	○			○	
49 仙台市	○	○	○	○	○	○	○			○	
50 さいたま市	○	○				○				○	
51 千葉市											
52 川崎市	○		○	○	○					○	
53 横浜市	○	○	○	○	○					○	○
54 新潟市	○										○
55 静岡市	○				○					○	
56 浜松市											
57 名古屋市	○										○
58 京都市	○										○
59 大阪市	○	○	○	○	○	○				○	
60 堺市	○	○	○	○	○						
61 神戸市											
62 広島市	○	○	○								
63 北九州市	○			○							
64 福岡市	○										○
合 計	43	25	28	24	27	9	13	4	3	26	10

その他の配慮事項

- ・ライト使用(鹿児島県)
- ・解答用紙(マークシート)を黒インクで印刷したものを用意(滋賀県)
- ・拡大読書器の使用(横浜市)

(2) イ 筆記試験における配慮

② 聴覚障害者

県市名	何らかの配慮の実施	具体的な配慮の内容							
		手話通訳	補聴器使用	要約筆記	書面・筆談指示	介添員配置	前列席・希望席に座席を配置	別室受験	受講者の希望に対応
1 北海道	○	○	○		○		○		
2 青森県									
3 岩手県	○	○							
4 宮城県	○	○	○	○	○	○	○	○	
5 秋田県	○	○			○				○
6 山形県									
7 福島県	○	○	○		○	○			
8 茨城県									
9 栃木県	○	○	○		○				
10 群馬県									
11 埼玉県	○	○					○		
12 千葉県	○				○		○		
13 東京都	○	○	○		○			○	
14 神奈川県	○	○			○		○	○	
15 新潟県	○	○			○	○	○		
16 富山県									
17 石川県	○	○		○	○			○	
18 福井県	○				○		○		
19 山梨県									
20 長野県	○	○	○		○	○	○		
21 岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	
22 静岡県	○	○	○		○		○	○	
23 愛知県	○	○	○		○	○	○		
24 三重県	○	○			○		○	○	
25 滋賀県	○				○		○		
26 京都府	○		○		○		○		
27 大阪府	○	○	○	○	○		○		
28 兵庫県	○	○			○		○		
29 奈良県	○	○			○			○	
30 和歌山県	○	○							
31 鳥取県	○	○					○		
32 島根県	○		○				○	○	○
33 岡山県	○				○			○	
34 広島県	○	○							
35 山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○

県市名	何らかの配慮の実施	具体的な配慮の内容							
		手話通訳	補聴器使用	要約筆記	書面・筆談指示	介添員配置	前列席・希望席に座席を配置	別室受験	受講者の希望に対応
36 徳島県	○	○	○		○		○		
37 香川県	○	○			○			○	
38 愛媛県	○	○	○		○		○		
39 高知県	○			○	○	○	○	○	
40 福岡県	○	○		○					○
41 佐賀県									
42 長崎県	○		○		○				
43 熊本県	○			○					
44 大分県	○	○			○			○	
45 宮崎県	○								○
46 鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	
47 沖縄県	○	○			○		○		
48 札幌市	○	○	○		○		○		
49 仙台市	○	○	○	○	○	○	○	○	
50 さいたま市	○	○						○	
51 千葉市	○				○		○		
52 川崎市									
53 横浜市	○		○		○				
54 新潟市	○								○
55 静岡市									
56 浜松市									
57 名古屋市	○	○							
58 京都市	○								○
59 大阪市	○	○	○		○		○	○	
60 堺市	○	○	○	○	○		○		
61 神戸市	○	○	○		○		○		
62 広島市	○	○							
63 北九州市									
64 福岡市	○								○
合計	53	38	23	11	38	10	30	18	8

その他の配慮事項

- ・ヒアリング問題で、専用デッキの用意(静岡県)
- ・筆記試験・教職教養で実施する英語リスニングを免除(奈良県)

(2) イ 筆記試験における配慮

③ 肢体不自由者

県市名	何らかの配慮の実施	具体的な配慮の内容						
		時間延長	解答方法の変更	ワープロ等使用	用紙拡大	別室受験	試験会場・机等の配慮	受験者の希望に対応
1 北海道								
2 青森県	○						○	
3 岩手県	○					○		
4 宮城県	○	○			○	○		
5 秋田県	○							○
6 山形県	○					○		
7 福島県								
8 茨城県	○							○
9 栃木県								
10 群馬県								
11 埼玉県	○					○		
12 千葉県								
13 東京都	○					○		
14 神奈川県	○	○	○		○	○		
15 新潟県								
16 富山県								
17 石川県								
18 福井県								
19 山梨県	○	○						
20 長野県								
21 岐阜県	○						○	
22 静岡県	○					○		
23 愛知県	○	○				○	○	
24 三重県	○						○	
25 滋賀県								
26 京都府								
27 大阪府	○	○			○		○	
28 兵庫県	○	○			○	○	○	
29 奈良県	○	○				○		
30 和歌山県	○	○						
31 鳥取県								
32 島根県	○	○			○	○	○	○
33 岡山県	○					○		
34 広島県	○						○	
35 山口県	○						○	○

県市名	何らかの配慮の実施	具体的な配慮の内容						
		時間延長	解答方法の変更	ワープロ等使用	用紙拡大	別室受験	試験会場・机等の配慮	受験者の希望に対応
36 徳島県	○	○	○			○		
37 香川県								
38 愛媛県	○	○	○	○	○	○		
39 高知県								
40 福岡県	○							○
41 佐賀県								
42 長崎県								
43 熊本県	○						○	
44 大分県								
45 宮崎県	○							○
46 鹿児島県								
47 沖縄県	○						○	
48 札幌市								
49 仙台市	○	○			○	○		
50 さいたま市	○						○	
51 千葉市								
52 川崎市								
53 横浜市								
54 新潟市	○							○
55 静岡市								
56 浜松市								
57 名古屋市	○						○	
58 京都市	○							○
59 大阪市	○	○			○	○		
60 堺市	○	○			○		○	
61 神戸市	○	○	○	○	○	○		
62 広島市	○						○	
63 北九州市								
64 福岡市	○							○

合計	38	15	4	2	10	17	15	9
----	----	----	---	---	----	----	----	---

その他の配慮事項

- ・内田クレペリン検査の免除(1次試験)(島根県)
- ・トイレ等の介助のための付き添いを認めた。(愛媛県)

(2) ウ 筆記試験以外の配慮

県市名	配慮の実施	実技試験・面接試験の配慮	筆記・実技試験以外の配慮
1 北海道	○	【視覚障害者】 介添人を措置し、各検査会場へ誘導した。 個別面接での場面指導課題、音楽実技検査問題、英語実技検査問題では、拡大した用紙を使用した。 【聴覚障害者】 手話通訳を配置した。(面接検査には2名を配置。)	視覚障害者の検査室を玄関近くの1階とする。
2 青森県	○		1次試験の集団討論において、控室までの移動の介助
3 岩手県	○	【肢体不自由者】 受験者が移動せず、試験官が移動して実施した。	【聴覚障害者】 手話通訳がよく見えるように、また、手話通訳者が他の受験者の妨げとならないように座席を配置した。 【肢体不自由者】 階段の上り下りなど最小限となるように受験室を定め、別室受験とした。
4 宮城県	○	障害の種類や程度に応じて実技試験を免除する。	具体的な実施方法等は、担当者が受験者と直接相談の上、決定する。
5 秋田県	○	【聴覚障害者】 手話通訳。 他障害種の受験者がいた場合、希望に柔軟に対応。	
6 山形県	○	【肢体不自由者】 電動車椅子を使用している受験者であったため、面接試験会場を1階の教室とした。	【肢体不自由者】 電動車椅子を使用している受験者であったため、面接試験会場を1階の教室とした。
7 福島県	○	一部の免除又は他のものに代えて行う。	
8 茨城県	○		車椅子の手配、移動しやすいように試験会場を1階にした。また、介助員を配置した。
9 栃木県	○	【聴覚障害者】 面接時の手話通訳。	
10 群馬県			
11 埼玉県			
12 千葉県	○	【聴覚障害者】 個人面接・模擬授業で、手話による通訳を実施した。	【聴覚障害者】 適性検査で、手話による通訳を実施した。
13 東京都	○	【聴覚障害者】 面接試験において、手話通訳者や要約筆記通訳者を配置している。	
14 神奈川県	○	小学校の体育実技について、必要に応じて免除や他の試験を行う。 【聴覚障害者】 面接試験において手話通訳者を設置している。	
15 新潟県	○		手話通訳等の配慮の有無について本人の希望を聞くとともに、実施する配慮内容を本人に通知する。

県市名	配慮の実施	実技試験・面接試験の配慮	筆記・実技試験以外の配慮
16 富山県	○	平成21年度検査では障害のある者3名の受検があった。うち2名は配慮不要の申し出があり、他の受検生と同様に受検した。1名は実技検査(2次一般体育実技)の際の配慮の申し出があったが、1次検査で不合格となった。	平成21年度検査では障害のある者3名の受検があったが、配慮不要の申し出があり、他の受検生と同様に受検した。
17 石川県	○	【中高聴覚障害者】 実技試験時は手話通訳者が隣室待機。 【小聴覚障害者】 実技時は手話通訳者が同行、音楽実技の免除。 【小視覚障害者】 歩行が危険な場所での誘導。	【聴覚障害者】: 面接試験時は手話通訳者を配置し時間も延長。 【視覚障害者】: 歩行が危険な場所での誘導。
18 福井県	○	【聴覚障害者】 本人に確認の上、整列位置を最前列にし、指示事項を聞き取りやすくした。 体力テストのシャトルランを実施する際、CDの電子音が聞こえるように、走る位置をスピーカーの近くにした。	【視覚障害者】 受付での配布物の文字を拡大して渡した。 【聴覚障害者】 放送での指示事項を文書で渡した。
19 山梨県	○		事前に連絡を取り、要望を聞き対応した。
20 長野県	○	障害に応じ、実技試験の一部又は全部を免除する。 【聴覚障害者】 希望により、手話通訳を配置する。 音楽実技の免除を認めた。 【病弱者】 水泳実技の免除を認めた。	【聴覚障害者】 手話通訳を配置する場合は、手話通訳との事前の打合せができるようにする。 担当者を付ける(放送による指示、適性検査時の確認等への対応)。
21 岐阜県	○	受験者の障がいの様子と試験内容から、事前に配慮事項を定め、本人に通知して安心感をもたせている。実技試験の内容については、一般選考受験者と同じ内容で行うことを原則とする。	必要に応じて介添員をつけ、安心して受験できるように配慮している。
22 静岡県	○	診断書により免除する場合もある。 【聴覚障害者】 出走合図を大き目の声で。 手話通訳者を配置。	
23 愛知県	○	【視覚障害者】 英語の実技試験で、問題文を点字にして提示する等の配慮。 【聴覚障害者】 口述試験(面接)を手話通訳により実施。	
24 三重県	○	模擬授業における板書の配慮。	試験会場駐車スペース確保。
25 滋賀県	○	【視覚障害者】 説明は書面を用いて行い、体力・運動実技の合図(始め・終わり)については、旗を用いて行った。 【聴覚障害者】 面接時及び指導実技(模擬授業)の試験時並びに実技試験の事前説明、実技後の質疑には、手話通訳を配置した。 【肢体不自由者】 体力・運動実技の一部を免除した。	
26 京都府	○	【聴覚障害者】 面接試験時における手話通訳の配置。 【肢体不自由者】 教育実践力テスト(模擬授業)の指導案作成及び授業時におけるパワーポイントの使用。	

県市名	配慮の実施	実技試験・面接試験の配慮	筆記・実技試験以外の配慮
27 大阪府	○	水泳をできない旨申し出た者(肢体不自由、妊婦など)水泳実技の面接へ振替等。 【聴覚障害者】 面接試験における手話通訳の配置。	
28 兵庫県	○	今年度について、実技試験を要する校種・科目の受験者なし。	対応する担当者を決め、駐車場から説明教室への誘導および別室にて事前説明。
29 奈良県	○	障害の種類、程度に応じて、免除、軽減をする。	1次試験で筆記試験・集団面接に加えて個人面接を実施している。
30 和歌山県	○	本人から希望する配慮の聞き取りを行い、個々に応じて実施している。(例、模擬授業等において教室内の位置の説明及び確認の時間をとる。水泳実技でコースをプールサイド隣に変更する。)	介助ボランティアがいない場合は、運営職員が検査会場内を案内する。
31 鳥取県	○	【聴覚障害者】 音楽実技試験を免除した。	
32 島根県	○	事前に具体的な配慮希望事項を受験者に聞き、障害の程度に応じて、試験内容の軽減及び受験方法等について配慮する。 試験の免除を行う場合もある。	受験会場を1階にしたり、トイレや保健室などの近くにするなど、受験者の希望に応じて適切に対応する。
33 岡山県	○	【聴覚障害者】 第1次及び第2次試験の集団面接を、個人での面接とし、手話通訳を配置して、面接官と受験者との意思疎通が十分図られるよう配慮した。 【肢体不自由者】 試験会場への自家用車の乗り入れを認めるとともに、模擬授業では、車椅子の高さを考慮した移動式のホワイトボードを用意する等の配慮を行った。	
34 広島県	○	障害の程度に応じて、実技試験の一部またはすべてを免除する。	障害の程度に応じて、適性検査の一部またはすべてを免除する。
35 山口県	○	【聴覚障害者】 音楽実技試験を免除した。 体育及び水泳実技試験については、書面による指示と併せてスタート時における合図を、視覚で確認できる等の工夫をした。	【肢体不自由】 車椅子使用者に対しては、例年3階で実施していた該当教科の受験会場を1階のトイレに近い会場へ変更した上で、さらには廊下側の一番後ろの座席とした。
36 徳島県			
37 香川県	○	【聴覚障害者】 1次の音楽実技について、できる範囲での実施に変更。 【肢体不自由者】 体育実技のうち水泳を免除。	【視覚障害者】 試験会場の移動の際に介添員を配置。
38 愛媛県	○	【聴覚障害者】 説明をプリントで指示するとともに、筆談のできる準備を事前にしておいた。	事前面談の実施。障害種により、メールによる連絡を認めた。
39 高知県	○	【聴覚障害者】 集団面接で要約筆記での受審。 【病弱者】 人工透析の必要な受審者に対して、透析日を避けて面接審査を実施。	
40 福岡県			
41 佐賀県	○	【肢体不自由者】 体力テスト(持久走)の免除を認めた。	

県市名	配慮の実施	実技試験・面接試験の配慮	筆記・実技試験以外の配慮
42 長崎県			
43 熊本県			
44 大分県	○	第1次試験の水泳試験を免除する。	
45 宮崎県	○	実技試験については、本人の申請により免除することがある。	受験に対して不安のある方が多いので、事前に連絡し試験について詳細に説明を加えている。
46 鹿児島県	○	本人からの申請書の内容に応じて適切に対応している。	本人からの要請等に応じて適切に対応することとしている。
47 沖縄県			
48 札幌市	○	(北海道と共同実施)	
49 仙台市	○	(宮城県と共同実施)	
50 さいたま市	○	障害の種類、程度に応じて、実技試験の一部の免除を認める。	
51 千葉市	○	(千葉県と共同実施)	
52 川崎市	○	今年度は実例がないが、それぞれの実情に応じて配慮をしている。	今年度は実例がないが、それぞれの実情に応じて配慮をしている。
53 横浜市	○	【聴覚障害者】 事前に説明文書を配布した。 模擬授業・集団面接を個人面接時に併せて行い、手話通訳を配置した。 面接時間を延長した。	事前に連絡を取り、要望を聞き対応した。 必要に応じて介添員をつけ、安心して受験できるように配慮している。
54 新潟市	○	受検者はいなかったが、受検に際しては、障がいの程度に応じて、実技検査の実施を考慮する。	会場への出入り、階段、トイレ等、受検者の立場に立って対応を図る。
55 静岡市	○		板書事項は、プリントによって提示した。(視覚障害のある者に対して)
56 浜松市			
57 名古屋市	○	【聴覚障害者】 面接時の着席位置を面接官の近くにした。 手話通訳による面接を行った。	【肢体不自由者】 車いすで移動できる1階に試験会場を設けた。
58 京都市	○	受験者の希望に応じて配慮する。	受験者の希望に応じて配慮する。
59 大阪市	○	【聴覚障害者】 水泳の実技試験において、スタートの合図を出す際、通常は試験官の発声によるものを、旗による指示に変更した。	
60 堺市	○	(大阪府と共同実施)	
61 神戸市			
62 広島市	○	(広島県と共同実施)	
63 北九州市	○	受験者の障害の内容・程度により個別に検討。	受験者の障害の内容・程度により個別に検討。
64 福岡市	○	障害の種類・程度に応じて、個別に配慮する。	
合 計	55		

